



国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

解禁：6月27日14時

令和7年6月26日



事務所HP



X (道路)



X (砂防)

かおれ

川上流路工改築事業 全建賞を受賞

～ 地元自治体との連携等に好評価 ～

記者発表資料

1. 概要

令和6年6月29日に完成式典を実施した「川上流路工改築事業」が、全建賞を受賞しました。

2. 全建賞とは

S28創設。我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられた。（詳細はQRコードより）

全建賞とは



3. 事業の概要

岐阜県中津川市を流れる中津川（木曽川支川）において、砂防施設の老朽化や越水被害のリスクに対応するため、流路工の大規模改築事業を実施したものです。

4. 受賞に際して評価を受けた点

砂防施設の増設、延伸、流路工の大規模改築において中津川市と連携し、市道線形の改良等地域住民の利便性を増進した等の点について、評価を受けました。

5. 詳細について 別紙（1枚）

配布先

多治見市政記者クラブ、中津川記者会、中日新聞社木曽通信局、信濃毎日新聞木曽支局、長野日報社本社編集局、木曽広域連合木曽広域情報センター、市民タイムス木曽支局、日刊建設工業新聞社、日刊工業新聞社、建通新聞社、建設通信新聞社、日本工業経済新聞社、新建新聞社

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

副所長 丹羽 隆志（にわ たかし）

砂防調査課長 小島 慎也（こじま しんや）

TEL: 0572-25-8024

E-MAIL: cbr-s853063@mlit.go.jp



危険を感じたら、早めの避難・声かけを！

Tajimi Office of Sabo and National Highway

【事業内容】

川上流路工のある中津川は、恵那山を源流とし、流域は急峻で荒廃が著しく、また、風化により脆く崩れやすい花崗岩からなることから、土砂災害リスクが高い地域として知られている。

川上地区では、豪雨の度に濁流が押し寄せ被害が頻発したため、S39～46にかけて、延長1,250mに渡る流路工が整備された。

整備後も土砂濃度の高い中津川の激流に晒され続け、砂防施設の老朽化、機能低下が懸念されるようになり、H20より川上流路工改築事業に着手した。

H28頃から宮前橋の架け替え等大規模な工事に着手し、R6.3に全ての工事を完了し、砂防堰堤2基、床固工13基からなる延長1.5kmの新たな川上流路工及び宮前橋が完成した。

令和6年6月29日、川上地区にある文楽の里楽生館において完成式典が実施された。



【連携の工夫・効果等】

旧宮前橋は、4スパンの橋梁であり、豪雨の度に水や流木が堰き止められて氾濫し、橋が流される危険があったため、架け替えは、河道を約6m拡幅し、橋梁は2スパンとする計画を採用し、河積を確保し、流下能力が向上した。

同時に、旧宮前橋は道路幅員が4mと対面通行が困難であったため、改良時には幅員6.5mとし、交通の利便性向上を図る改良を道路管理者である中津川市と連携して行った。

